

## 頭部打撲した場合・・・

乳幼児の頭部打撲はよくある事故の一つです。「50センチ程の高さのベットのから落ちた（落ちていた）けど、大丈夫ですか？将来、後遺症が残りますか？」など、心配してクリニックを受診する（駆け込む）親御さんが少なくありません。

交通事故や高い所からの転落などで救急搬送される場合は、頭部のレントゲン検査やCTスキャンが是非必要ですが、**チョットした日常の頭部打撲は経過観察でよい**と思います。

但し、以下の症状が出てきた場合は総合病院の救急室を受診する必要があります。

### ① 意識の低下

頭を打った後は、痛みやビクリして大泣きをすることがありますので、抱っこしてあげましょう。しばらくして元気になれば心配ありません。しかし、**意識が次第に悪くなって、呼んだら目を開けるが、すぐ寝てしまうような症状がないか24時間**は十分注意して下さい。

### ② 頻回の嘔吐

頭を打って一度ぐらい吐いてしまうのはよくあることです。でも1時間以上たっても**何度も嘔吐がある場合**が要注意です。

### ③ けいれん発作

乳幼児の熱性けいれんは珍しくありませんが、**無熱性けいれん**があれば普通ではありません。

### ④ 手足のまひ

手足の動きに**左右差**があったり、力が入らなかったりする時です。

### ⑤ 激しい頭痛

乳児では分かり難いのですが、無性に頭をかきむしったり、**泣きわめいたりする場合**や幼児では**我慢できないような頭痛**を訴える場合です。

### ⑥ 耳や鼻から出血したり、体液が流れたりしている場合

上記の異常が認められない時は、慌てずじっくり子どもの状態を観察して下さい。

また、頭部の腫れ（たんこぶ）はそのままでも1週間ほどで消えていきますが、痛みを訴える場合は氷で冷やすようにして下さい。頭部は血管が多いので、チョットした傷でも大出血のように感じるものです。圧迫して止血し、当然傷が深ければ救急センターを受診して下さい。（チャイルドヘルス、2008年7月号参考にしました）

（たまなは）

